

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期 1 T 2 T	1 年	2 単位	選択科目
担当教員			
中山 政弘			
対象	こども保育コース	ナンバリング	CS061
添付ファイル			

サブタイトル	
授業の概要	「発達障害とは何か」という問いに対して、学んだ内容の理解とこれまで経験したこととのつながりができるような講義を行います。 発達障害の種類や特性について学習した後に、発達障害の子どもや保護者・きょうだいの心理、地域との連携等について学習することで、保育・教育の現場で発達障害を持つ子どもに必要な基礎的な理解を得ることを目指します。また、グループワーク等を行うことで、受講者の様々な考え方に触れ、自分の考えを深める機会とします。
授業の到達目標	①発達障害の分類や症状を説明できるようになる ②発達障害による子どもや保護者の心理を説明できるようになる ③発達障害への支援の流れを説明できるようになる
該当ディプロマ・ポリシー項目番号 (評価基準番号)	DP2、DP3、DP4
授業形態	講義
授業計画	<p>1 発達障害の理解で学ぶこと 前半はオリエンテーションと概要の説明を行い、後半は発達障害についてのイメージなどについてグループワークをします。 (事前学習) 発達障害について知っていることについて整理しておきましょう。(1.5時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>2 (発達) 障害とは何か 障害について、またその中での発達障害の位置づけについて学びます (事前学習) DSM-5、国際生活機能分類 (ICF) による障害モデルについて調べておきましょう。(1.5時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>3 知的能力障害 知的能力障害や重度心身障害について学びます (事前学習) 知的能力障害や重度心身障害について文献などで調べておきましょう。(1時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>4 自閉症スペクトラム障害 (ASD) その1 自閉症スペクトラム障害 (ASD) の特性などについて学びます (事前学習) 自閉スペクトラム症の特徴などについて文献などで調べておきましょう。(1時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>5 自閉症スペクトラム障害 (ASD) その2 自閉症スペクトラム障害 (ASD) の特性の背景にある脳の働きについて学びます (事前学習) 前回学んだ内容 (ノートやプリント) を見直しておきましょう。(1時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>6 限局性学習障害 (SLD)、注意欠如多動性障害 (ADHD) 限局性学習障害 (SLD)、注意欠如多動性障害 (ADHD) の特性などについて学びます (事前学習) 限局性学習障害 (SLD)、注意欠如多動性障害 (ADHD) の特徴などについて文献などで調べておきましょう。(1時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>7 発達の遅れと発達検査 発達の遅れとはどういうことを表すのか、また発達の指標としての発達検査について学びます (事前学習) 発達検査や知能検査について文献などで調べておきましょう。(1.5時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>8 発達障害はどのようにして明らかになるのか 家庭や園、乳幼児健診等での気づきとそこから専門機関へどのようにつながるのかについて学びます (事前学習) 発達障害への気づきのきっかけはどのようなことが多いのか文献などで調べておきましょう。(1時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>9 付属幼稚園実習の振り返り 発達障害も含めて、実習中に気になった子ども、場面、保育者の援助についてグループワークを行う (事前学習) 付属こども園での実習で気づいたことについてまとめておきましょう (1.5時間) 課題レポートを作成しましょう (1時間) (事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>10 発達障害を持つ子どもとその家族 発達障害を持つ子どもの保護者ときょうだいの心理について学びます</p>

	<p>(事前学習) 発達障害を持つ子どもの保護者ときょうだいの心理について文献などで調べておきましょう。(1.5時間)</p> <p>(事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>11 実習振り返りへのフィードバック 幼稚園実習振り返りのグループワークやレポートについてのコメントや解説を行います (事前学習) 第9回の授業の内容を踏まえ、実習について再度振り返っておきましょう。(1.5時間)</p> <p>(事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>12 保育・教育における支援体制 保育園・幼稚園や小学校における支援体制について学びます (事前学習) 保育園・幼稚園や小学校における支援体制について文献などで調べておきましょう。(1.5時間)</p> <p>(事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>13 関係する機関とのつながり 発達障害を持つ子どもを支援する関係機関の役割と連携について学びます (事前学習) 発達障害を持つ子どもを支援する関係機関について文献などで調べておきましょう。(1.5時間)</p> <p>(事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>14 ライフステージという視点から子どもとの関わりを考える 発達障害を持つ子どもの小学校入学以降の状況について学びます (事前学習) 学齢期以降の発達障害児・者を取りまく状況について文献などで調べておきましょう。(1.5時間)</p> <p>(事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>15 補足とまとめ 15回の授業を通して学んだことを整理します (事前学習) これまでの授業の資料やノートを読み直しておきましょう。(1.5時間)</p> <p>(事後学習) 授業のポイントを確認して、ノートや資料を整理しましょう。(1時間)</p> <p>定期試験に向けて授業の内容を復習しましょう(3時間)</p>
試験	定期試験
アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)	ペア・グループワーク
評価方法(基準)	意欲態度(15%)・グループワーク・小レポート(35%)・レポート(50%) 意欲態度については、授業への参加態度(積極的発言、指示への適切な応答、私語や居眠りをしない、携帯使用の有無)などによって評価を行います。 グループワーク・小レポート、レポートについては、発達障害についての基本的な理解ができているか、指定されたテーマに沿っているか、適切な文量となっているか、しっかりと考察されているか、正しい日本語の文章で表現できているかなどを記述式問題によって評価します。
課題(試験やレポート等)のフィードバック	フィードバックについては、小レポートについては、特に多く課題となっていた点について授業でフィードバックを行う。レポートについては、採点や模範解答について個別の問い合わせに応じる。
教科書参考書	教科書は指定しません。プリントの配布を中心として、参考書は適宜紹介します。
備考・履修上の注意	欠席時(公欠等除く)の対応については、欠席の翌回の授業開始より前に申し出があった場合は資料配布や課題の説明を行います。また、正当な理由なく、指定の回にレポート提出がなされない場合は、減点を行うか、または評価しません。
科目に関する実務経験を活かした教育内容	病院での発達障害を持つ子どもの診断評価や支援を行っている教員が、発達障害の概要や支援を取り巻く状況について解説する
オフィスアワー	火曜日12:00~13:00